

No.2 穂高・等々力地区

——水辺の風景と道祖神を訪ねて——

等々力家を起点に、三角島、早春賦^{そうしゅんふ}の碑、等々力城跡、道祖神などをめぐるコースです。わさび田やニジマス^{ニジマス}の養殖池が点在し、安曇野らしい水辺の風景と北アルプスの眺望が楽しめます。また、等々力城跡や数多くの道祖神など歴史と文化を感じる地区です。



等々力城跡



等々力西村の道祖神
(右は大勢至塔、左は庚申塔)



東光寺



北アルプスの眺め



「水色の時」道祖神



水辺の風景

◆コースタイム ※時間は歩速 3km / 毎時としての目安です（休憩含まず）。

スタート 等々力家→約 1.3km*25 分→「水色の時」道祖神公園→約 0.4km*10 分→三角島→約 0.9km*20 分→早春賦の碑→約 1.1km*20 分→等々力城跡→約 1.1km*20 分→ **ゴール** 等々力家

【合計】 約 4.8km * 1 時間 35 分



三角島



等々力家の長屋門（安曇野市有形文化財）



①等々力家 ※長屋門：安曇野市有形文化財

等々力村の庄屋を勤めた家で、松本藩主がこの辺りで狩猟をした際は「御本陣」として休憩所となりました。主屋には殿様座敷があり、長屋門は安曇野市の有形文化財に、庭園のビャクシンは天然記念物に指定されています。

◇開館時間：9：00～16：00 入館料：300円
冬季休業（12月～3月）



②「水色の時」道祖神公園

昭和50年（1975）NHK朝の連続テレビ小説「水色の時」のために、彫刻家・須藤賢氏が制作した道祖神がここに置かれ、道祖神公園となっています。

📖 安曇野豆知識 p.26



③三角島

万水川と蓼川に挟まれた三角地です。この自然豊かな場所をよりよい方法で整備をしようという「三角島ふるさとの森プロジェクト」が始まっています。

📖 安曇野豆知識 p.25



④わさび田

扇状地の扇端の豊かな湧水を利用して、この一帯には「大王わさび農場」をはじめとした多くのわさび田があります。散策していると大小さまざまなわさび田に出会います。

📖 安曇野豆知識 p.24



⑤早春賦の碑

「春は名だけの風の寒さや」で始まる唱歌「早春賦」は、作詞家の吉丸一昌が安曇野の遅い春を待ちわびる思いを歌にしたといわれます。それを記念してこの地に歌碑が建てられ、毎年4月29日には早春賦音楽祭が開かれます。



⑥等々力城跡

戦国時代の武将等々力氏の砦のあった所です。石彫家・大神弘氏がここに灯籠と石像を制作し、史跡として整備されました。常念岳の眺めがすばらしいポイントです。



等々力の道祖神



a 道祖神 酒器像
文政2年（1819年）
女神の持つ酒器は大徳利のようです。



b 道祖神 握手像
天保12年（1841年）
男女の神が肩を組み仲睦まじく手を取り合っています。



c 道祖神 握手像（右端）
明治18年（1885年）
大黒天・二十三夜塔碑と一緒に並んでいます。



d 道祖神握手像
天保10年（1839）
女神は素足のままです。



e 道祖神 握手像
天保2年（1831）
小型の愛らしい道祖神碑です。



f 道祖神 握手像（手前）
文政2年（1819）
東光寺入口の脇に二十三夜塔などとまつられています。

📖 安曇野豆知識 p.26